

東京大学訪問研修を実施しました

8月23日（水）に、東京大学訪問研修を行いました。これは、1・2年生の希望者が東大へ行き、キャンパスを見学しながら東大の先生や学生の話聞く夏の恒例行事です。毎年大変好評で、8回目となる今年は、1年生を中心に22名の生徒が参加しました。

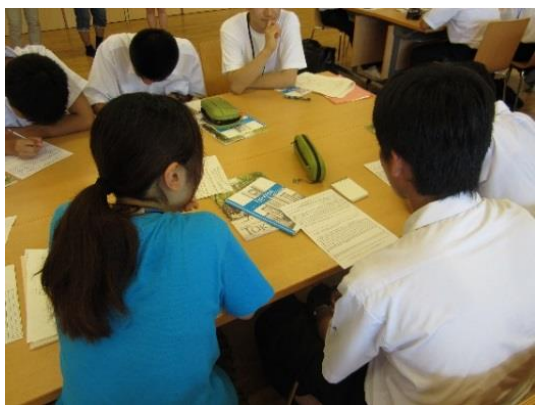
今夏の関東は雨天続きでしたが、研修当日は暑すぎるほどの快晴に恵まれました。名古屋駅を8時過ぎに出発し、東京大学駒場キャンパスには10時30分頃到着。ここで東大の、大学紹介サークルの学生と合流し、まずは駒場キャンパス内を案内していただきました。



キャンパス巡り

続いて建物内に入り、グループ別に東大生から学習アドバイスをいただきました。プリントを用いて普段の生活習慣を見直すとともに、部活との両立の仕方や学部学科の選択の方法など実体験に基づく話を聞いて、とても充実した研修になっていました。

途中の昼食休憩では、全員で学食へ行きました。夏休み中ですが、研究やサークル活動の大学生で学食はとても賑やか。メニューが豊富で値段も安く、カフェテリア形式の食堂は高校生にとって新鮮に感じられたようです。購買にも足を伸ばし、お土産に東大グッズを買いました。



東大生からの個別アドバイス



お土産に東大グッズを

研修後半は東京大学生産技術研究所に場所を移し、土屋健介准教授の研究室を訪問しました。土屋研究室では「小さな世界」に照準を合わせ、微細加工技術や微細組立技術の研究を行っています。はじめに土屋先生から科学についてレクチャーをしていただき、その後実験室へ行き実際に機材を操作させていただきました。興味をもった生徒も多く、中にはこの研究室見学をきっかけとして東大を目指す宣言してくれた心強い参加者もいました。

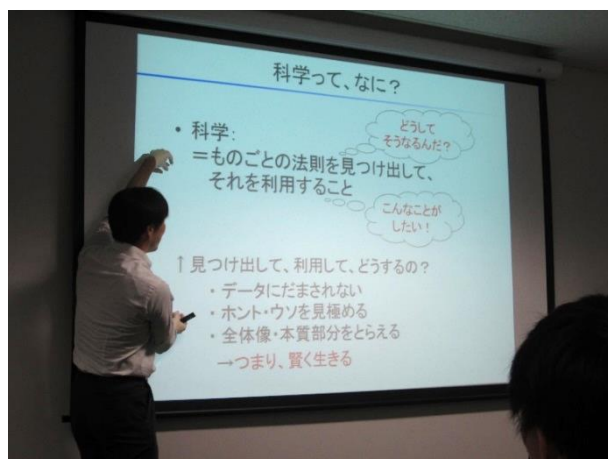
今年も盛りだくさんの日程で、参加生徒は東京大学についてより具体的にイメージをもつことができたようです。これを機に、より一層日々の勉強に励んでほしいと思います。最後になりましたが、今回の訪問研修を快く受け入れてくださいました、東大生産技術研究所の土屋健介准教授、東大学生サークル Fair Wind はじめ多くの皆様方に、この場を借りて深く御礼申し上げます。



東大生を質問攻め



東大の先生の特別講義を受講



研究のイロハを学びました



実験機材にも触れてみました